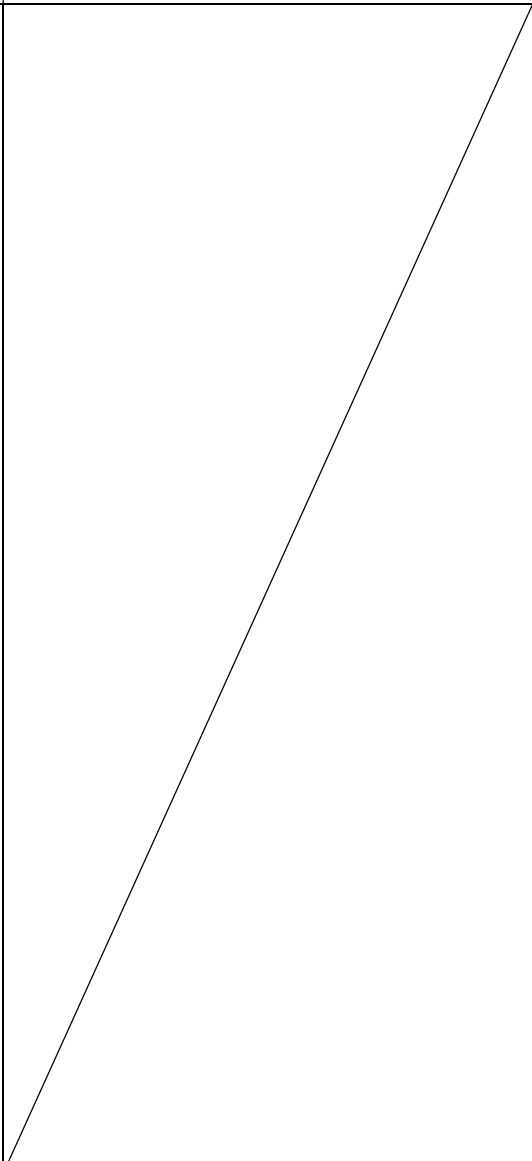


平成28年度 庄内総合支庁運営プログラム自己評価・検証結果

<短期アクションプランの目標指標>	<やまがた創生総合戦略の数値目標>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庄内子育て情報サイトを活用して子育て情報を発信する団体数：80 団体（H28 年度：80 団体）</li> <li>・ 庄内地域の「やまがた婚活応援団+」会員数：35 団体（H26 年度：32 団体）</li> <li>・ 喫煙率：18%以下（H28 年：調査中 H29 年8月末確定予定）</li> <li>・ 自殺死亡者数：74 人未満（H28 年：55 人）※ 厚労省自殺統計（暫定値）</li> <li>・ 救急搬送された自宅での入浴事故件数：100 件以下（H27 年：170 件、H28 年：H29 年8月確定予定）</li> <li>・ 広域的な連携・交流活動を行う団体への支援数（4 年間）：12 団体（H28 年度累計：14 団体）</li> <li>・ 飛鳥への観光客入込数：16,000 人（H28 年度 10,521 人）</li> <li>・ 公益教育講座等開催数（4 年間）：8 回（H28 年度累計：16 回）</li> <li>・ 県民参加の森づくり参加者数：20,000 人（H28 年度：22,600 人）</li> <li>・ 農業産出額 5 億円以上の農産物数：11 品目（－）</li> <li>・ 海面漁業生産額：32 億円（H28 年：36 億円）</li> <li>・ 水産加工品の開発支援：3 件（H28 年度：8 件）</li> <li>・ 新規就農者数：50 人（H28 年度：66 人）</li> <li>・ 新規漁業就業者数：15 人（H28 年度：7 人）</li> <li>・ 観光客入込数：1,500 万人（H28 年度：1,424 万人（推計値））※H29.8 確定</li> <li>・ ロケ地情報を発信するホームページの登録データ数：640 件（H27 年度：730 件）</li> <li>・ 映画づくりに携わる人材を育成する講座等への参加者数（累計）：150 人（H27 年度累計：551 人）</li> <li>・ 専門支援機関との連携などによる企業コーディネート支援活動：6 件（H28 年度：13 件）</li> <li>・ 庄内地区の高校卒業者の県内定着率（就職率）：70%（H28 年度：68.2%）</li> <li>・ クリーンアップ運動期間中の海岸清掃参加者数：3,200 人（H28 年度：3,384 人）</li> <li>・ 山形県地球温暖化防止活動推進員による出前講座実施回数：15 回（H28 年度：15 回）</li> <li>・ 栽培・養殖魚種：6 魚種（H28 年度：6 魚種）</li> <li>・ 庄内浜文化伝道師講座の開催：130 回（H28 年度：172 回）</li> <li>・ 再生可能エネルギー及び代替エネルギーを活用する施設数（発電施設）（4 年間）：100 箇所（H28 年度累計：140 箇所）</li> <li>・ 再生可能エネルギー及び代替エネルギーを活用する施設数（熱利用施設）（4 年間）：35 箇所（H28 年度累計：35 箇所）</li> <li>・ 未利用廃棄物の分別回収取組み事業所数：150 箇所（H28 年度：154 箇所）</li> <li>・ 津波避難訓練参加者数（4 年間）：20,000 人（H28 年度累計：32,838 人）</li> <li>・ 土砂災害危険箇所図の整備率：100%（H26 年度：100%）</li> <li>・ 災害時の孤立化防止に資する橋梁の耐震化：7 橋（H27 年度累計：7 橋）</li> <li>・ 新庄酒田道路、余目～酒田間の供用延長：5.9 km（H27 年度：5.9 km）</li> <li>・ ポートセールス訪問件数：30 件（H28 年度：19 件）</li> <li>・ 秋田・新潟との交流事業の参加者数：2,000 人（H28 年度：4,164 人）</li> </ul>	

## 1 基本的考え方

平成28年度は、庄内地域短期アクションプランの最終年度として、プランに掲げる3つのテーマ、「1. 公益の心と活動が支える安心して暮らせる地域社会『庄内』の実現」、「2. 『食』と『映画』が牽引する『庄内』の魅力発信と雇用を生み出す知的産業群の形成」、「3. 『庄内』の海・山・平野の環境を守り、北東・東アジアに通ずる交流基盤の整備」の実現に向け、「やまがた創生総合戦略」も踏まえつつ、市町等との連携強化を図りながら、部局横断的な対応により事業を着実に推進するものとする。

## 2 施策体系（施策名称及び目標等一覧）

施策番号	重点施策の名称	主な取り組み内容	重点施策の目標及び実績 (総合戦略のKPI)	目標の達成状況	短期APにおける位置づけ
					総合戦略における位置づけ
1-1	結婚・子育て・仕事のしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報サイトの拡充及び子育て支援関係者の情報共有促進</li> <li>療育支援者と疾病や発達等に課題のある子どもの保護者の連携支援</li> <li>ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画に係る講座開催への支援</li> <li>企業と連携した結婚支援及び結婚支援団体活動の活性化促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庄内子育て情報サイトを活用して子育て関連情報を発信する団体数 80団体 (H28実績: 80団体)</li> <li>○結婚支援セミナー・情報交換会への参加企業・団体数 30企業・団体 (H28実績: 30企業・団体)</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ1-施策1-(1)- ①子育てしやすい環境づくりの推進</p> <p>②疾病や発達等に課題のある子どもの療育支援の充実</p> <p>テーマ1-施策1-(2)- ②男女共同参画を実践する人材の育成</p> <p>テーマ1-施策1-(3)- ①結婚を地域全体で応援する体制づくりの推進</p>
1-2	日常生活を支える保健・医療・福祉の相互協力体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>肺がん予防及び自殺予防に向けた啓発強化と民間団体・個人と協働・連携した取り組みの実施</li> <li>地域包括ケアシステム構築に向けた市町による生活支援・介護予防体制づくりのためのサポート体制の構築、情報交換等の実施</li> <li>入浴事故予防啓発の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「庄内地域禁煙サポートプログラム～子育て期～」の管内産科医療機関、市町担当課での実施率 100% (H28実績: 100%)</li> <li>○市町村公共施設における受動喫煙対策実施率 95%以上 (H28実績: 97%)</li> <li>○県が行う自殺予防対策に協働・連携する民間の団体・個人数 5団体・個人 (H28実績: 6団体・個人)</li> <li>○地域住民を対象とした入浴事故予防出前講座受講者数 750人以上 (H28実績: 795人)</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ1-施策2-(2)- ①がん・心疾患予防に向けた啓発</p> <p>②自殺予防に向けた相談、啓発強化と相談対応者の育成</p> <p>テーマ1-施策2-(4)- ①地域包括ケアシステムの推進と認知症支援の充実</p> <p>テーマ1-施策2-(5)- ①入浴事故防止の取り組み拡大</p>

1-3	コミュニティモデルの創造と多様な主体や若者による地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者の地域定着に向けた対応事業の実施〔創〕</li> <li>若者を主体としたまちづくり及び地域活動参加を促進する取組みへの支援</li> <li>地域活動参加の促進に向けた展開</li> <li>地域の伝統文化を活用した取組みの推進〔創〕</li> <li>地域資源を活用した取組みへの支援</li> <li>飛島旅行商品の増加や情報発信の強化に向けた関係者に対する働きかけの実施</li> <li>地域内、地域間交通の維持・確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広域的な連携・交流活動を行う団体への支援数 3団体（H28実績：3団体）</li> <li>○飛島への観光客入込数 16,000人（H28実績：10,521人）</li> </ul>	<p>達成</p> <p>未達成</p>	<p>テーマ1－施策3－（1）－</p> <p>①将来を担う若者の地域への参画の推進</p> <p>②多様な主体によるコミュニティの活性化</p> <p>テーマ1－施策3－（1）－</p> <p>③賑わいのあるまちづくりの推進</p> <p>テーマ1－施策3－（2）－</p> <p>①地域資源を活用した農山漁村の活性化</p> <p>②飛島のコミュニティの再生と交流人口の拡大、定住の促進</p> <p>③地域内、地域間交通の維持・確保</p> <hr/> <p>基本目標4－（4）－</p> <p>①連携中枢都市圏、定住自立圏等による新たな広域連携を促進</p>
1-4	公益活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北公益文科大学等との協働による人材育成</li> <li>公益活動の裾野拡大に向けた普及啓発</li> <li>多様な主体の協働による自然体験型環境教育の展開</li> <li>県民参加の森づくり運動の推進と人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公益教育講座等開催数 2回（H28実績：3回）</li> <li>○県民参加の森づくり参加者数 22,500人（H28実績：22,600人）</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ1－施策4－（1）－</p> <p>①公益を担う人材育成</p> <p>②公益活動の啓発と促進</p> <p>テーマ1－施策4－（2）－</p> <p>①自然体験型環境教育の推進</p>
2-1	「食の都庄内」の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>良食味「庄内米」の生産拡大</li> <li>園芸作物の産地強化への支援</li> <li>農業の担い手の育成・確保の支援</li> <li>水産物の生産・流通・加工対策の推進</li> <li>漁業の担い手の確保・育成の推進</li> <li>「食の都庄内」のブランド化と情報発信〔創〕</li> <li>農林水産物の販路開拓と6次産業化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つや姫一等米比率 98%（H28実績：99.5%）</li> <li>○ストック出荷量 500万本（H28実績：404万本）</li> <li>○新規就農者数 50人（H28実績：66人）</li> <li>○海面漁業生産額 32億円（H28実績：36億円 暦年値）</li> </ul>	<p>達成</p> <p>概ね達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ2－施策1－（1）－</p> <p>①つや姫を核とした良食味米の生産拡大</p> <p>②園芸作物の産地強化</p> <p>④水産物の生産・流通・加工対策</p> <p>テーマ2－施策1－（2）－</p> <p>①農業の担い手の育成・確保</p> <p>②水産業の担い手の育成・確保</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規漁業就業者数 15人 (H28実績: 7人)</li> <li>○「食の都庄内」協力店数 300店 (H28実績: 383店)</li> </ul>	未達成 達成	<p>テーマ2-施策1-(2)- ③農山漁村づくり</p> <p>テーマ2-施策1-(3)- ①食の都庄内の情報発信と販路の拡大 ②食の都庄内を支える人材の育成と活用</p> <hr/> <p>基本目標4-(4)- ①連携中枢都市圏、定住自立圏等による新たな広域連携を促進</p>
2-2	魅力ある観光圏の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内の特色を活かしたツーリズムの推進による観光誘客の拡充</li> <li>・魅力向上・受入態勢整備と隣県との広域連携の強化</li> <li>・外国人観光客の誘客の拡充〔創〕</li> <li>・庄内の特徴を活かしたコンベンション等誘致の強化</li> <li>・地域における観光客受入態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客入込数 1,500万人 (H28推計値: 1,424万人) ※H29.8確定予定)</li> <li>○外国人観光客受入数 22,500人 (H28速報値: 22,745人)</li> </ul>	概ね達成 達成	<p>テーマ2-施策2-(1)- ①食映画・文学出羽三山等を素材とした特色あるツーリズムの推進</p> <p>②誘客プロモーションの強化</p> <p>テーマ2-施策2-(1)- ③広域連携と情報発信力の強化による誘客推進</p> <p>テーマ2-施策2-(2)- ①外国人観光客の誘客 ②コンベンションの誘致</p> <p>テーマ2-施策2-(3)- ②受入態勢の整備</p> <hr/> <p>基本目標4-(4)- ②県境を越えて広域連携を促進</p>
2-3	「映画」を核とした地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画ロケ地情報の発信</li> </ul>			<p>テーマ2-施策3-(1)- ①撮影誘致の推進とロケ地情報などの発信</p> <p>テーマ2-施策3-(2)- ①映画づくりに携わる人材の育成と映画による地域活性化の展開</p>

2-4	ものづくり産業群の構築と雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな企業取引や企業ネットワーク形成への支援</li> <li>・農商工等連携への支援</li> <li>・若手人材の地域定着の促進と地域の産業振興の方向に応じた新たな雇用創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業コーディネート支援件数 10件（H28実績：13件）</li> <li>○庄内就職面接会参加企業数 60社（H28実績：69社）</li> <li>○庄内地区の高校卒業者の県内定着率（就職率） 70%（H28実績：68.2%）</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p> <p>概ね達成</p>	<p>テーマ2－施策4－（1）－</p> <p>①新たな企業取引や企業ネットワーク形成等への支援</p> <p>②再生可能エネルギー等による新産業化の検討</p> <p>③事業コーディネート体制の強化</p> <p>テーマ2－施策4－（2）－</p> <p>①地域産業を支える若手人材の確保・育成</p>
3-1	自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回収処理対策及び発生抑制対策の推進</li> <li>・県民参加の森づくり運動の推進と人材の育成</li> <li>・環境保全のための多角的な取組みの推進</li> <li>・地球温暖化対策に向けた普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民参加の森づくり参加者数 22,500人（H28実績：22,600人）</li> <li>○クリーンアップ運動期間中の海岸清掃参加者数 3,200人（H28実績：3,384人）</li> <li>○山形県地球温暖化防止活動推進員による出前講座実施回数 15回（H28実績：15回）</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ3－施策1－（1）－</p> <p>①環境教育や環境保全活動の推進</p> <p>テーマ3－施策1－（2）－</p> <p>①海岸漂着物対策や河川・道路美化活動などの推進</p> <p>テーマ3－施策1－（3）－</p> <p>①地球温暖化対策に向けた普及啓発</p>
3-2	豊かな海づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の生産・流通・加工対策の推進</li> <li>・漁業の担い手の確保・育成の推進</li> <li>・水産業や浜文化への理解促進〔創〕</li> <li>・海、河川、森林の環境保全</li> <li>・沿岸域における地域資源の活用の展開</li> <li>・安全な漁港・漁場の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規漁業就業者数 15人（H28実績：7人）</li> <li>○庄内浜文化伝道師講座等の開催回数 130回（H28実績：172回）</li> </ul>	<p>未達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ3－施策2－（1）－</p> <p>①資源管理・栽培漁業・養殖の推進</p> <p>②水産物の流通・加工対策</p> <p>③担い手の育成・確保の推進</p> <p>テーマ3－施策2－（2）－</p> <p>①海や水産業、浜文化等の理解促進</p> <p>②海、河川、森林の環境保全活動の普及啓発</p> <p>③沿岸域の利活用の促進</p> <p>テーマ3－施策2－（3）－</p> <p>①計画的な漁港・漁場の整備の推進</p> <p>基本目標4－（4）－</p> <p>①連携中枢都市圏、定住自立圏等による新たな広域連携を促進</p>

3-3	再生可能エネルギーの導入促進と循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特性を活かした導入の促進</li> <li>・地域におけるリサイクルの拡充             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 廃瓦をリサイクルするための実用化に向けた具体的な検討</li> <li>2) 中小企業から排出される雑紙等をリサイクルに回す取組みの普及啓発を継続実施</li> <li>3) 小型家電リサイクルの普及啓発と市町が実施する回収等の支援</li> </ol> </li> <li>・農業分野での木質バイオマスの利活用(熱利用)についてモデル地区を設定し、実証試験を実施</li> <li>・鶴岡バイオマス協議会に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー及び代替エネルギーを活用する施設数 熱利用施設 35件 (H28 累計：熱利用施設 35件)</li> <li>○未利用廃棄物(雑紙等)の分別回収取組み事業所数 150箇所 (H28 実績：154箇所)</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ3-施策3-(1)- ①再生可能エネルギーの導入促進</p> <p>テーマ3-施策3-(3)- ①循環型社会の形成に向けたリサイクルの推進</p>
3-4	災害に強い防災・減災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な津波対策の展開</li> <li>・社会福祉施設の地震津波災害対策の推進</li> <li>・防災啓発及び市町との連携強化</li> <li>・災害時における被害の軽減に向けた展開</li> <li>・集中豪雨などに対応した社会資本基盤の整備</li> <li>・災害に強い基盤の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○津波避難訓練参加者数 5,000人 (H28 実績：9,927人)</li> <li>○津波浸水想定・被害想定を受けた学習会の開催数 3回 (H28 実績：4回)</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ3-施策4-(1)- ①減災の視点による津波対策の推進</p> <p>②地域防災力の強化</p> <p>テーマ3-施策4-(2)- ①被害の軽減を図るための支援の強化</p> <p>③地域防災力の強化</p> <p>テーマ3-施策4-(3)- ①集中豪雨や大雪などの自然災害に強い社会資本などの基盤整備の推進</p> <p>③橋梁や河川施設、農業利水施設などの長寿命化対策と適切な管理の推進</p>
3-5	交通基盤の整備と広域交流の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・格子状ネットワークを形成する高速道路などの整備促進</li> <li>・羽越新幹線整備促進に向けた機運醸成、羽越本線の高速化・安定輸送の確保に向けた活動の展開</li> <li>・庄内空港利便性向上・利用拡大に向けた活動の展開</li> <li>・関係機関とともに実施するポートセールス活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日沿道未整備区間などの事業促進に向けて実施する広報活動の取組数 2取組 (H28 実績：2取組)</li> <li>○新庄酒田道路の供用開始を促進する活動への参加回数 4回 (H28 実績：4回)</li> <li>○秋田・新潟との交流事業の参加者数 2,000人 (H28 実績：4,164人)</li> </ul>	<p>達成</p> <p>達成</p> <p>達成</p>	<p>テーマ3-施策5-(1)- ①格子状の高速道路の整備促進</p> <p>テーマ3-施策5-(1)- ②高速アクセス道路の整備推進</p> <p>③広域交流の拡大に向けた情報発信の推進と地域活性化</p>

		<p>・秋田・新潟両県との相互交流の拡大</p>		<p>テーマ3－施策5－（1）－  ④羽越本線の高速化・安定輸送の確保  ⑤庄内空港の利便性向上・利用拡大  テーマ3－施策5－（2）－  ①コンテナ航路の維持・拡大と港湾機能の強化による物流の促進  テーマ3－施策5－（3）－  ①隣県隣接地域との連携の強化</p>
--	--	--------------------------	--	--

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
1-1	結婚・子育て・仕事のしやすい環境づくり	○庄内子育て情報サイトを活用して子育て関連情報を発信する団体数 80 団体（H28 実績：80 団体） ○結婚支援セミナー・情報交換会への参加企業・団体数 30 企業・団体（H28 実績：30 企業・団体）

短期APにおける位置付け		やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ1－施策1－（1）－①子育てしやすい環境づくりの推進 ②疾病や発達等に課題のある子どもの療育支援の充実		
テーマ1－施策1－（2）－②男女共同参画を实践する人材の育成		
テーマ1－施策1－（3）－①結婚を地域全体で応援する体制づくりの推進		
平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援環境と疾病や発達等に課題のある子どもの療育支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報サイトの構築及び開設(H23.3)、民間団体への運営移管(H26.3)</li> <li>・障がいや疾病の疑いがある子にかかる療育連絡会等の開催(H22～)</li> </ul> </li> <li>○ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て情報サイトを活用したワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発(H23～)</li> <li>・女性リーダーの養成研修会及び交流会の開催(H23～H26)</li> </ul> </li> <li>○結婚を地域全体で応援する意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・婚活支援団体との共催による婚活サミットの開催(H23, H25, H26)</li> <li>・企業と連携した結婚支援事業（セミナー・交流会）と管内の市町・結婚支援団体との情報交換会の開催（H27）</li> </ul> </li> </ul>	
<b>施策の評価と今後の推進方向等</b>		

## 〔平成28年度の取組みの評価〕

- ・子育て情報サイトのアクセス数や利用団体数は順調に増加し、男女共同参画においては、実践者の交流が図られ一定の成果が見られたが、療育支援において継続した取組みが必要である。また、婚活の場の提供については一定の実績があるが、さらに実効性を高めるため、市町や結婚支援団体との情報共有と相互協力による広域的な取組みなど、より参加しやすい場にしていく必要がある。

## 〔今後の推進方向等〕

- ・子育て支援については、引き続き、運営を移管したNPO団体をサポートしながら子育て支援情報の充実を図るとともに、研修等を通じ子育てに関する不安感・負担感の軽減に向けて取り組んでいく。
- ・結婚支援については、市町・結婚支援団体との連携を図り、相互協力による情報共有化を進め、各団体が実施するイベント等出会いの機会の活性化を図る。また、企業との連携をさらに進めるため、結婚支援のみに関わらず、ワーク・ライフ・バランスを含めた子育て支援など、「山形いきいき子育て応援企業」への加入促進の取組みと連動した働きかけを行う。



〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・子育て情報サイトの拡充及び子育て支援関係者の情報共有促進 (①)
- ・療育支援者と疾病や発達等に課題のある子どもの保護者の連携支援 (②)
- ・ワーク・ライフ・バランス及び男女共同参画に係る講座開催への支援 (③)
- ・企業と連携した結婚支援及び結婚支援団体活動の活性化促進 (④)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	情報の充実と情報量の拡充 登録団体への情報提供の働きかけ、サイトのPR			
		企画会議の開催		
②	療育連絡会（事例検討会）及び「気になる子」の事例検討会の実施 （15回開催）			
		療育支援研修会の開催	療育支援ネットワーク会議の開催	
	療育連絡会（事例検討会）及び「気になる子」の事例検討会の実施 （3回開催）			
③	ワーク・ライフ・バランス及び庄内地域男女共同参画講座の開催協力			
④		結婚支援団体情報交換会の開催		庄内若者異業種交流会実行委員会の開催
		トークショー、セミナー・交流会の開催		

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
1-2	日常生活を支える保健・医療・福祉の相互協力体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「庄内地域禁煙サポートプログラム～子育て期～」の管内産科医療機関、市町担当課での実施率 100%（H28実績：100%）</li> <li>○市町村公共施設における受動喫煙対策実施率 95%以上（H28実績：97%）</li> <li>○県が行う自殺予防対策に協働・連携する民間の団体・個人数 5団体・個人（H28実績：6団体・個人）</li> <li>○地域住民を対象とした入浴事故予防出前講座受講者数 750人以上（H28実績：795人）</li> </ul>

短期APにおける位置付け		やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ1	施策2 - (2) - ①がん・心疾患予防に向けた啓発 ②自殺予防に向けた相談、啓発強化と相談対応者の育成	
テーマ1	施策2 - (4) - ①地域包括ケアシステムの推進と認知症支援の充実	
テーマ1	施策2 - (5) - ①入浴事故防止の取組み拡大	

平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働く人のがん予防と働き盛りの世代・若者の自殺予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診受診向上に向けた研究会の設置・開催及びモデル事業（庄内町）の実施</li> <li>・禁煙推進・受動喫煙防止に向けた研修会の開催、啓発、個別支援、アンケート調査の実施</li> <li>・自殺予防に向けた啓発強化、心のサポーターの養成及び自殺との関係性が強いとされるアルコール依存症対策の実施</li> </ul> </li> <li>○高齢者への介護、生活環境支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの基盤となる地域の見守り・支え合い活動の普及・拡大に向けた先進事例研修・情報交換会の開催、高齢者の居場所づくり・介護予防の取組み等に係る意見交換会の実施</li> <li>・入浴事故実態調査及び予防啓発の実施</li> </ul> </li> </ul>
------------------	---

#### 施策の評価と今後の推進方向等

##### 〔平成28年度の実施状況の評価〕

- ・がんのリスクを高める喫煙・受動喫煙防止対策推進のため、イベントや出前講座のほか、市町と連携した啓発を実施したことにより管内市町公共施設における対策を進めることができた。また、市町、産婦人科医療機関との連携により「庄内地域禁煙サポートプログラム」を活用した禁煙支援をスタートさせるとともに、市町・産婦人科・小児科・禁煙治療実施医療機関等を対象に研修会を開催し、効果的な禁煙支援の実践方法を共有することができた。がん検診受診率向上の取組みとしては、職域に対する「がん検診受診率向上のためのリーフレット」を作成し啓発することができた。

- ・自殺予防については、保健師等が事業所等に出向き、ストレスとの上手な付き合い方などについて講話を行う「心の健康づくり出前講座」を実施するとともに、自殺ハイリスク者対策として「自死遺族のつどい」を開催し、僧侶による法話なども交え、遺族に寄り添いながら相談支援に取り組んだ。また、自殺との関係性が指摘されているアルコール依存症対策として、専門医のスーパーバイズによる個別事例検討会、さらには若年層（高校生等）を対象にしたアルコール健康教育を実施した。これらの取組みにより、全体として自殺者数は減少傾向にあるものの、今後も継続して自殺予防対策に取り組んでいく必要がある。
- ・地域包括ケアシステムの構築については、地域の介護事業者をはじめ、NPOやボランティア団体等多様な主体が生活支援サービスや介護予防活動に参画する「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施に向け、管内市町担当者等による定期的な情報交換の実施等により、各市町とも平成29年4月から事業が開始される予定となっているなど、生活支援・介護予防の体制づくりが進んできている。今後も、それぞれの取組状況に応じた支援を継続し、高齢者の生活を支えるための体制づくりを強化していく。
- ・入浴事故予防については、複数のテレビ局や新聞で取り上げられたり、バスメーカーの視察を受けるなど、認知度は高まってきている。市町の健康まつり等と連携した啓発キャラバンや、自治会や老人クラブを中心とした出前講座を継続して実施した。また、日帰り入浴施設における啓発キャンペーン(展示物の掲示)を冬季間に実施したところ、来客者に好評を得たことから今後も継続できるよう取り組んでいく。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・がん対策については市町、医療機関との連携により禁煙支援や受動喫煙防止対策を推進するとともに、未成年者に対する防煙教育を実施する。また、職域に対するがん検診受診率向上のための啓発を強化していく。
- ・自殺予防については、引き続き民間団体等と連携を図りながら自殺予防意識の啓発に努めるとともに、若年層、働き盛り層、高齢層など、ターゲットを絞った対策を強化していく。
- ・地域包括ケアシステムの構築については、各市町の取組みに対する確かな助言等を行う庁内の専門職（保健師）等で構成するサポートチームを中心に、引き続き支援を行っていく。
- ・入浴事故については、出前講座の実施により、予防法や対処法について知る機会を増やすなど、市町と協働して、より住民に身近なところからの啓発を進め事故防止の強化を図る。救急オンラインシステムデータを活用して、入浴事故件数の把握を長期的に行っていく。

〔平成28年度の主な取り組み内容〕

- ・ 肺がん予防及び自殺予防に向けた啓発強化と民間団体・個人と協働・連携した取り組み等の実施 (①)
- ・ 地域包括ケアシステム構築に向けた市町による生活支援・介護予防体制づくりのためのサポート体制の構築、情報交換等の実施 (②)
- ・ 入浴事故予防啓発の拡大 (③)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①		禁煙支援研修会の準備・開催		禁煙支援研修会の準備・開催
	禁煙サポートプログラムの活用指導			
		がん検診受診率向上のためのリーフレット作成		
	出前講座（タバコの害）の実施			
	出前講座（自殺予防）の実施（18回）、心のサポーター養成（新規1,164人） 自殺ハイリスク者に関する研修会・ケアの推進、アルコール健康教育の実施、 県の自殺予防対策に対する協働・連携事業の実施			
		【自殺予防週間 9/10～16】		【自殺対策強化月間 3月】
②	サポート体制の構築	市町の取組状況に応じた助言等の実施		
		情報交換会の開催①		情報交換会の開催②
			よいふるキャラバン	啓発キャンペーン
③	出前講座（入浴事故予防）の実施			



- ・地域活動参加の促進については、生涯学習施設「里仁館」を活用し、庄内地域の歴史、文化、地域課題等を題材にした講座を開催することで、地域住民の地域に対する愛着と誇りを醸成するとともに、コミュニティ活動への参加を考える契機を提供することができた。
- ・庄内地域の伝統文化を活用した取組みについては、酒田市との共催により「北前船による湊町文化」をテーマとしたシンポジウムを開催し、地域の魅力の再発見や郷土愛の醸成等を図った。
- ・出羽の古道六十里越街道会議が行っているフォーラムについては、多くの参加者に地域資源の魅力を発信できたが、参加者が庄内、村山地域の住民に偏っているという課題があり、今後は県内外のより広範囲の人々にフォーラムへの参加を促し、交流人口の拡大に繋げていく必要がある。
- ・庄内景観回廊・加茂地区活性化支援については、地域住民主催のワークショップへ参加するなど、加茂地区内の地域づくりの取組みに参加した。
- ・離島振興については、飛島の暮らしと仕事体験事業の参加者から実際に移住した住民が出てくるなど定住人口の確保が図られた。また、観光ボランティアガイドの養成や飛島観光健康ツーリズムモニターツアーの実施により、交流人口拡大の取組みを推進した。
- ・地域内、地域間交通の維持・確保については、各市町の地域公共交通会議に参画し、生活交通確保に取り組んだことで、住民の利便性の維持が図られた。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・若者の地域への定着を促すため、庄内で暮らすことや働くことの魅力を取りまとめた啓発資料等を作成し、地域の内外へ広く発信する取組みを継続する。
- ・若者を主体としたまちづくり及び地域活動参加を促進する取組みについては、潜在的な活動の掘り起こしを含め、庄内地域以外の団体と連携・交流する広域的な取組みに重点を置いた支援を継続していく。
- ・地域活動参加の促進については、生涯学習施設「里仁館」と連携した庄内の地域資源、地域課題を踏まえた学習講座を引き続き開催し、住民の地域への愛着と誇りを醸成するとともに、コミュニティ活動への参加を促していく。
- ・庄内地域の伝統文化を活用した取組みについては、引き続き管内市町と連携し、多様で上質な地域の文化の魅力を発信するシンポジウム等を開催し、郷土愛の醸成と観光面とも連携した交流人口の拡大を図っていく。
- ・出羽の古道六十里越街道等を含む出羽三山は、平成28年4月に日本遺産に認定されており、旅行エージェントやメディアへのプロモーションのほか、県内外のバスのラッピング広告による一般向けのPRなどを行っており、今後は並行して、国内、海外の旅行エージェントなどを対象としたモニターツアーを実施するなど、誘客に努めていく。
- ・庄内景観回廊・加茂地区活性化支援については、鶴岡市や東北公益文科大学及び加茂水産高校との連携を継続しながら、地域住民が主体となった取組みが持続できるように、人的支援を行っていく。
- ・離島振興については、鳥海山・飛島ジオパーク認定を契機とした交流人口拡大に向け、旅行商品の更なる造成に向けた関係者に対する積極的な働き掛けを行っていくとともに、観光ボランティアガイドの養成等により観光客の受入態勢を整備し、また、定住人口確保のため飛島の暮らしと仕事体験事業の実施による移住の増加を図る。
- ・地域内、地域間交通の維持・確保については、引き続き、地域公共交通会議に参画し、過疎地域等における生活交通確保に取り組む。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・若者の地域定着に向けた対応事業の実施 (①) [創]
- ・若者を主体としたまちづくり及び地域活動参加を促進する取組みへの支援 (②)
- ・地域活動参加の促進に向けた展開 (③)
- ・地域の伝統文化を活用した取組みの推進 (④) [創]
- ・地域資源を活用した取組みへの支援 (⑤)
- ・飛島旅行商品の増加や情報発信の強化に向けた関係者に対する働きかけの実施 (⑥)
- ・地域内、地域間交通の維持・確保 (⑦)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	若者の地域定着に向けた啓発資料の作成			若者の地域定着意識醸成に向けた情報発信
②	補助金要綱策定	周知、募集、交付決定、実績報告		
③	庄内地域探訪共創講座の開催 (5講座)			
④	シンポジウム開催に向けた準備		シンポジウム開催	シンポジウムの成果の活用 (資料のHP公開、配布等)
⑤	出羽の古道六十里越街道会議への支援			
⑥	とびしま未来協議会への支援			
	飛島及び飛島特産品のPR活動		三島交流会への参加	
⑥	連携支援サポートチーム会議 離島振興検討部会の実施			
	旅行商品拡大に向けた関係者に対する積極的な働きかけ			
	観光ボランティアガイドの養成			
	トライアル移住事業の実施による移住者の誘致推進			
⑦	バス対策協議会の開催	各市町地域公共交通会議への参画		

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	
1-4	公益活動の推進	○公益教育講座等開催数 2回 (H28実績: 3回) ○県民参加の森づくり参加者数 22,500人 (H28実績: 22,600人)

短期APにおける位置付け	やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ1-施策4-(1)-①公益を担う人材育成 ②公益活動の啓発と促進 テーマ1-施策4-(2)-①自然体験型環境教育の推進	
平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公益を担う人材の育成と公益活動の普及・促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益を担う人材の育成に向けた教育セミナー、教育研修会の実施</li> <li>・公益活動の促進のため効果的なイベント企画に向けた講座などの開催、公益活動情報の発信</li> </ul> </li> <li>○海や森を教材にした教育や公益の心を育てる環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北自然歩道を活用した自然体験型環境学習会の開催</li> <li>・多様な主体による「美しいやまがたの海プラットフォーム」を設置し、「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動を実施</li> <li>・飛島を舞台とした環境教育実施事業（とびしまクリーンツーリズム）による環境教育の実施</li> <li>・多様な主体の協働による海岸林保全の推進、森林環境教育、森林ボランティア活動の支援</li> </ul> </li> </ul>
<b>施策の評価と今後の推進方向等</b>	

**〔平成28年度の取組みの評価〕**

- ・公益を担う人材の育成と公益活動の普及・促進については、東北公益文科大学及び教員有志による「公益教育研究会」と連携した公益教育セミナーの開催並びに公益活動を行うNPO法人と連携した研修会、交流会の開催により、公益教育の普及や公益活動実践者間のネットワーク強化が図られた。  
また、東北公益文科大学における「地（知）の拠点整備事業」において協働で取組みを進めた。
- ・「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動は、裸足で歩ける庄内海岸を目標とした海岸と河口におけるボランティアによる清掃活動として定着している。平成26年度から始まった「飛島を舞台とした環境教育実施事業（とびしまクリーンツーリズム）」は、対象を教育効果の高い小中学生親子に絞り、海岸漂着物問題の普及啓発と人材育成に一定の成果を挙げている。
- ・県民参加の森づくりについては、H26に開催した全国育樹祭を契機とした森づくり運動の機運を、森・川・海の連続性の趣旨から、9月に開催した全国豊かな海づくり大会へつなげる活動として、森林環境教育や森林整備体験活動に重点的に取り組んだ結果、森づくり活動参加者の増加に結びついた。



**【今後の推進方向等】**

- ・公益を担う人材育成と公益活動の普及・促進については、引き続き東北公益文科大学や関係団体と連携しながら、学校教育関係者等に対する普及啓発を行うとともに、NPO法人やボランティア団体などの公益活動実践者を育成・支援していく。  
また、東北公益文科大学における「地（知）の拠点整備事業」の取組みについて、同大学との協働を図っていく。
- ・飛島を舞台とした環境教育については、スタッフ研修の充実やカリキュラムの見直し等を通じて学習効果の向上を図っていく。
- ・県民参加の森づくりについては、引き続き行政機関、教育機関、森づくり活動団体、NPO 等との連携を強化して、地域に根差した保全活動の定着とさらなる展開に向け運動を推進するほか、新たに森林環境教育の指導者（森の案内人）となる人材の育成に取り組んでいく。

**【平成28年度の主な取組み内容】**

- ・東北公益文科大学等との協働による人材育成 ①
- ・公益活動の裾野拡大に向けた普及啓発 ②
- ・多様な主体の協働による自然体験型環境教育の展開 ③
- ・県民参加の森づくり運動の推進と人材の育成 ④

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①		教育関係者等による公益教育セミナー等の開催		
	「地（知）の拠点整備事業」への参画			
②	公益のふるさと協働フォーラムの運営（公益活動実践者によるフォーラム等の開催）			
③		「美しいやまがたの海」グリーンアップ運動の実施		
		飛島を舞台とした環境教育の実施		
④	ボランティアリーダー研修の開催、森林ボランティア活動や森林環境教育の支援			

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
2-1	「食の都庄内」の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つや姫一等米比率 98% (H28 実績：99.5%)</li> <li>○ストック出荷量 500 万本 (H28 実績：404 万本)</li> <li>○新規就農者数 50 人 (H28 実績：66 人)</li> <li>○海面漁業生産額 32 億円 (H28 実績：36 億円 暦年値)</li> <li>○新規漁業就業者数 15 人 (H28 実績：7 人)</li> <li>○「食の都庄内」協力店数 300 店 (H28 実績：383 店)</li> </ul>

短期APにおける位置付け	やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ2-施策1-(1)-①「つや姫」を核とした良食味米の生産拡大 ②園芸作物の産地強化 ④水産物の生産・流通・加工対策 テーマ2-施策1-(2)-①農業の担い手の育成・確保 ②水産業の担い手の育成・確保 ③農山漁村づくり テーマ2-施策1-(3)-①食の都庄内の情報発信と販路の拡大 ②食の都庄内を支える人材の育成と活用	基本目標4-(4)-①連携中枢都市圏、定住自立圏等による新たな広域連携を促進

平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良食味米の生産拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22～27年産「つや姫」の生産者認定と良食味米生産指導の実施</li> </ul> </li> <li>○園芸作物の産地強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「庄内広域園芸振興計画」の策定、新農林水産業元気再生戦略「庄内地域プロジェクト」の展開</li> <li>・大消費地における、えだまめ、ねぎ等の販売促進活動の展開</li> </ul> </li> <li>○農業の担い手の育成・確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援対象者を特定した重点的な支援の実施</li> </ul> </li> <li>○水産物の生産・流通・加工対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理（網目拡大や休漁期間の設定）、栽培漁業（種苗の育成・放流）及び水産加工品の開発</li> </ul> </li> <li>○漁業の担い手の確保・育成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生に対する少年水産教室や体験漁業の実施、漁業就業希望者に対する漁業就業者準備研修の実施</li> </ul> </li> <li>○鳥海南麓や月山麓に展開する大型畑作団地の有効活用と産地形成への支援</li> </ul>
------------------	--

- ・畑作団地における産地づくり活動への支援
- 「食の都庄内」の情報発信と6次産業化の推進
- ・「食の都庄内」親善大使による県内外でのPR活動の展開
- ・やまがた6次産業化戦略庄内地域実施本部（「食の都庄内」づくり推進会議の改組）の設立

### 施策の評価と今後の推進方向等

#### 〔平成28年度の取組みの評価〕

- ・米づくりについては、関係機関・団体と連携し、「つや姫」独自の栽培基準や品質管理体制に基づく取組みによりブランドの確立を進め、庄内産米全体の評価向上に向けた指導活動を展開し、一等米比率は目標値を上回った。さらなるブランド力向上のため、「つや姫」主産地として、気象変動下においても収量、品質、食味の高位安定を図る必要がある。
- ・園芸作物については、厚みのある園芸産地の形成に向けた取組みを進め、メロン、えだまめ、ねぎ、花（ストック、トルコぎきょう、小ぎく等）、柿、さくらんぼ、日本なし等を重点に、収量と品質の高位安定（全品目）と出荷規格の統一・出荷期間の拡大（ねぎ）に向けた支援を行っている。ストックの出荷量については作付面積の減少や秋期の日照不足と低温の影響などにより、目標数量を達成することはできなかったものの、市場評価は高かった。また、流通市場の動向等を踏まえ、キャベツや軽量野菜など新たな園芸品目の振興に向け技術実証等に取り組んでいる。今後も、産地評価のさらなる向上を目指し、技術支援等の支援を行う必要がある。
- ・農業の担い手の育成・確保については、関係機関の役割分担を明確化し、相談記録票の交換など情報共有を図るとともに、関係機関と合同で青年就農給付金受給者に対する面接を実施し、就農に向けた支援を行った。また、平成28年4月に山形大学農学部と鶴岡市が設置した「地域定住農業者育成コンソーシアム」に参画し、農業を志す青年の自立と定住に向け、就農相談及び経営・技術相談の面で支援を行った。
- ・漁業生産額では、各漁業が堅調に推移したうえ、特にスルメイカの水揚げが好調で、平成11年以来17年振りに36億円を達成した。
- ・水産加工・流通については、庄内水産加工振興コンソーシアムによるトビウオ、紅エビ等地魚を原料とした8品目の開発支援を行うとともに、商品開発や流通、衛生管理等の専門家を招いた研修会を3回開催し、延べ約100人が受講した。また、付加価値向上のため、サワラの活け締め技術向上や脂肪含有量調査、紅エビ等の急速冷凍品開発を行った。
- ・漁業の担い手の確保・育成については、7名が新規に就業した（底びき3名、はえなわ・一本釣り2名、定置2名）。その他1名が漁業就業者準備研修（期間1年間）受講中である。トッパーを目指す漁業者に対する代船建造支援（県単）では、3名のはえなわ漁業者が新船を建造し、漁船リース事業（国庫）では、4隻が新船建造又は中古船購入を実施中である。
- ・庄内産天然トラフグの知名度向上と地元消費拡大を図るため、12月からキャンペーンを行い、約1千人が利用し、各種メディアでも取り上げられた。
- ・「食の都庄内」づくりについては、官民一体となった事業展開を目的に昨年度創設した“「食の都庄内」協力店制度”を強力に推進するため、登録店増加の促進を図るとともに、「食の都庄内」サポーター制度を見直し、多くの方々の加入を促進し、情報発信の強化を図った（H28実績、協力店登録店数：383店 サポーター登録者数：485人）。また、「食の都庄内」のシンボリックな事業として庄内弁当プロジェクト第2弾「庄内ビストロ弁当」を制作、今年度9月に開催された「第36回全国豊かな海づくり大会」にて同時開催された「豊かな海づくりフェスタ」において御披露目となり販売開始。第1弾の「駅の弁当庄内弁」も継続販売しており、双方とも好評を得ている（H28年度販売個数 庄内弁：8,164個 ビストロ弁当：1,084個）。親善大使の活動については、ハイウェイフェス

タとうほく 2016、庄内空港開港 25 周年記念空の日フェスタ、山形県の観光と物産市 in 霞城セントラルにて振舞い等によるPRを行い、また、業界誌への記事掲載、パンフレット制作、ホームページの充実（閲覧数：昨年度同期比9%増）により、着実に「食の都庄内」のブランドの確立と認知度が向上してきている。1月には、庄内浜で近年漁獲量が上がっているトラフグを取り上げ、“食の都庄内天然とらふぐキャンペーン”の一環として「庄内浜産天然トラフグ御披露目会」を開催し、庄内地域各界の方々を招き親善大使監修のコース料理を提供、庄内地域の冬の新たな観光資源への足がかりとなった。

- ・6次産業化については、推進プロジェクトに基づき、「食の都庄内交流会」における新商品の発表や求評活動の実施、6次産業化の取組み促進に向けたセミナーの開催、取組者に対するコーディネート活動、支援ネットワークの連携促進等の取組みや、元気な女性・若者ビジネス応援事業を活用した新たな取組みの促進と支援を行った（庄内地域15件採択）。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・米づくりについては、「つや姫」の主産地であることを踏まえ、引き続き高品質・良食味米の安定的な生産のため、きめ細やかな技術支援を行うとともに、「つや姫」を核として、「はえぬき」や新品種「雪若丸」など庄内産米全体の評価向上に向けた生産体制を強化していく。
- ・園芸作物については、引き続き、メロン、えだまめ、ねぎ、花（ストック、トルコギキョウ、小ぎく等）、柿、さくらんぼ、日本なし等を重点に、関係機関・団体と連携し、産地強化に取り組むとともに、キャベツや軽量野菜など新たな園芸品目の振興に向けた取組みを推進していく。
- ・農業の担い手の育成・確保については、関係機関と情報共有しながら、支援対象者を特定して重点的な支援を行い、新規就農者の円滑な就農・経営安定化を目指していく。
- ・水産については、資源管理の推進とその持続的利用を行うとともに、付加価値向上対策としてトラフグ、ズワイガニ等のブランド化を進め、食をテーマとした観光商品への磨き上げを図っていく。また、水産加工・流通については、コーディネーターを配置し、漁業者等が行う加工品開発や販路開拓を支援していく。
- ・漁業の担い手確保・育成については、求人情報の発信強化や就業希望者と研修引き受け者のマッチング等について、よりきめ細やかに行い、間口を広げるとともに研修中の離脱者を減少させ、就業者の増加へ繋げる。併せて、漁業就業者や独立漁業者に対する収入安定化対策や漁船等の取得支援などを通じて、担い手確保及び個々の漁業者の所得増加に向けた取組みを進めていく。
- ・「食の都庄内」づくりについては、「食の都庄内」サポーターの登録を促進し更なる情報発信力の強化を図るとともに、今年度大幅に増加した「食の都庄内」協力店との連携活動を展開していく。また、各種イベント等における親善大使のPR活動、更なるホームページの充実により情報発信を強化していくとともに、食材を活用したイベントや生産者との交流など、庄内地域が一体となった広域的な取組みを展開していく。
- ・6次産業化については、市町の支援組織と連携した支援を行うとともに、元気な6次産業化ステップアップ支援事業（旧：元気な女性・若者ビジネス応援事業）を積極的に活用した取組み促進、6次産業化サポートセンター（やまがた農業支援センター）の専門家派遣事業、その他支援事業等を活用して地域の取組みを促進し支援する。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・良食味「庄内米」の生産拡大 (①)
- ・園芸作物の産地強化への支援 (②)
- ・農業の担い手の育成・確保の支援 (③)
- ・水産物の生産・流通・加工対策の推進 (④)
- ・漁業の担い手の確保・育成の推進 (⑤)
- ・「食の都庄内」のブランド化と情報発信 (⑥) 〔創〕
- ・農林水産物の販路開拓と6次産業化の推進 (⑦)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	展示圃（土づくり等）・調査圃の設置及び調査、個別重点指導、技術対策会議・現地研修会の開催		展示圃・調査圃の成績検討、次年度対策の検討、栽培マニュアル研修会の実施	
②	実証圃（有望品種）・調査圃の設置及び調査、栽培講習会・試食検討会の開催			
	現地検討会の開催、実績検討会の開催、次年度対応の検討			
③	新規就農者への支援（指導・助言）			
④	資源管理計画の変更等の指導、資源管理措置の履行確認、事実の周知と参加の促進、評価			
	新たな栽培魚種・養殖魚種の技術的検討			
	庄内水産加工振興コンソーシアムにおける情報交換と連携の促進、水産加工品の開発の促進			
⑤	新規漁業就業者に対する研修、技術指導、経営指導等の支援			
	漁業就業希望者に対する長期・短期研修の実施			
	トップランナーを目指す意欲的な漁業者に対する代船建造等の支援実施			
	中高生に対する少年水産教室や体験漁業の実施			
⑥	庄内が一体となったブランド戦略事業の展開			
	親善大使等による「食の都庄内」PR活動の展開			
	HP等による「食の都庄内」の情報発信等（随時）			
⑦	首都圏での販売促進活動の展開、流通検討会の開催等			
	食の都庄内6次産業化推進プロジェクトの展開			
	スタチ生産拡大プロジェクトの推進			

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
2-2	魅力ある観光圏の形成	○観光客入込数 1,500万人（H28推計値：1,424万人）※H29.8確定予定） ○外国人観光客受入数 22,500人（H28速報値：22,745人）

短期APにおける位置付け	やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ2-施策2-(1)-①「食」「映画・文学」「出羽三山」等を素材とした特色あるツーリズムの推進 ②誘客プロモーションの強化 ③広域連携と情報発信力の強化による誘客推進 テーマ2-施策2-(2)-①外国人観光客の誘客 ②コンベンションの誘致 テーマ2-施策2-(3)-②受入態勢の整備	基本目標4-(4)-②県境を越えて広域連携を促進

平成27年度までの主な取組み状況	○通年観光誘客の促進 ・山形DC推進協議会と連携した誘客キャンペーンの実施 ・首都圏、中京圏、関西圏の観光プロモーション（“食の都庄内”観光フォーラム in Tokyo など）の実施 ・秋田、山形、新潟3県10市町村を圏域とした「日本海きらきら羽越観光圏整備事業」の実施 ・庄内観光コンベンション協会英語版ホームページによる情報発信と「外国人観光客受入セミナー」の開催
------------------	--

#### 施策の評価と今後の推進方向等

##### 〔平成28年度の実施状況の評価〕

- 平成28年度は、第36回全国豊かな海づくり大会の参加者が庄内を周遊することを目的としたエクスカージョンへの助成や、庄内空港開港25周年事業“空の日フェスタ”にブース展開を行った。首都圏からの誘客を促進するため、“食の都庄内”観光フォーラム in Tokyoを開催するとともに、羽田空港乗り継ぎによる庄内空港への観光誘客のため、庄内空港利用振興協議会と連携し、福岡県・大阪府・広島県・愛媛県でANA各支店・旅行エージェント各支店へのプロモーションを実施した。
- 外国人観光客の誘客対策については、庄内観光コンベンション協会ホームページ英語版の作成や、ロコミサイト「トリップアドバイザー」での情報発信を行った。併せて観光客受入態勢整備を目的に「外国人観光客受入セミナー」を開催した。インバウンド・国際交流推進課が東北観光復興交付金事業として実施する海外メディア・旅行エージェント招聘ツアーにアテンドし、庄内管内の観光施設の旅行商品化に向けたPR等を実施した。
- 日本海きらきら羽越観光圏推進協議会では、首都圏等のマスメディアを招聘し圏内の温泉・観光施設・イベント等を取材し、その結果を雑誌媒体・ネット等で情報発信を行った。また、外国人観光客への情報発信のため、JR東京駅日本橋口に設置された外国人向け観光案内所“TIC東京”でパンフレット配布及びプロモーションVTRの上映等を行った。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・引き続き、平成 27 年 5 月に改定した第 3 次庄内観光コンベンション振興プログラム（H27～31）に基づき、「オール庄内で観光振興・コンベンション誘致に取り組み、交流人口を増やし、地域を元気にする。」を基本目標とし、「戦略的な情報発信」「庄内観光の魅力向上」「国際観光の拡大」「コンベンション等誘致」を 4 本柱に事業を展開する。
- ・平成 29 年度は、本年度庄内観光コンベンション協会あり方検討会議で議論された課題解決に向けた事業の方向性に基づき、既存事業の効果を検証し、市町村事業との重複を回避しつつスクラップアンドビルドにより事業の重点化を図るとともに、新しい需要に的確に対応した上で下記の重点分野を設定して事業を推進する。

##### (1) インバウンド事業

インバウンド事業は、庄内地域全体で取り組むことが効果的であり、SVAが中心となって、県・市町村・県国際観光推進協議会等と連携して取り組む。

東北観光復興対策交付金事業を積極的に活用した「外国人観光客の誘致」や「外航クルーズ船の誘致・受入態勢整備」などを推進する。

##### (2) 庄内地域統一キャンペーン

各市町村が各々に実施しているイベント(例:寒鱈まつり・新酒まつりなど)を“オール庄内”としてつなぐ新たなキャンペーンを展開する。

##### (3) コンベンションの誘致

従来から取組んでいた学会・会議の総合展示会への出展や開催支援を引き続き実施する。加えて、高等教育機関と連携し、100～200 人程度の学会・大会等の誘致や山伏修行体験を中心とした宿坊研修の誘致に積極的に取り組む。

また、日本海きらきら羽越観光圏推進協議会では、上越新幹線・羽越本線 同一ホーム乗り換えが平成 30 年第 1 四半期に完成予定のため、J R 東日本新潟支社・沿線市町村等と連携したキャンペーン・プロモーションを実施する。更に、観光圏の新たなブランドイメージの確立を目指し、中長期計画の作成を進める。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・庄内の特色を活かしたツーリズムの推進による観光誘客の拡充 (①)
- ・魅力向上・受入態勢整備と隣県との広域連携の強化 (②)
- ・外国人観光客の誘客の拡充 (③) 〔創〕
- ・庄内の特徴を活かしたコンベンション等誘致の強化 (④)
- ・地域における観光客受入態勢の整備 (⑤)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	「体験、食、巡礼、トレッキング、絶景」をテーマに、誘客イベントを開催 → 羽黒山五重塔夜間ライトアップ、絶景写真のコンテストなど			
	“食の都庄内”観光フォーラムの開催	旅行エージェント等向け誘客プロモーションの実施（首都圏、中京・関西圏、近県）		
②	全国豊かな海づくり大会エキスカッションへの助成 とくとくクーポンマップの作成		庄内空港開港25周年記念事業として空の日フェスタへの出展 各種協賛事業への協力・支援	
	上越新幹線・羽越本線の新潟駅対面ホーム乗換に向けた観光キャンペーンの実施方法等の検討			
	日本海きらきら羽越観光圏推進協議会による広域連携事業（即身仏パンフなど）の実施			
③	東北観光推進機構等と連携した海外旅行エージェント向け誘客プロモーションの実施			
	英語版ホームページの充実と情報発信 「トリップアドバイザー」など外国人が良く見るサイトへの情報掲載			インバウンドセミナーの開催
	酒田港 クルーズ船誘致活動			
	日本海きらきら羽越観光圏協議会による外国観光客誘致事業 （プロモーションVTRの公開・TICTOKYOでのプロモーション）			
④	コンベンションの情報収集、「クルーズ船」「宿坊を利用した社員研修」等誘致活動 ホームページによる情報発信強化			
⑤	庄内おばこ号への支援 美食感動キャンペーン冬の酒蔵巡りの商品造成・支援 庄内ひな街道の観光客受入態勢整備に関する検討			
	観光ガイド養成の支援（飛島観光ガイド養成） 庄内ガイドドライバー協議会への支援（認証・更新研修 観光施設割引制度導入）			

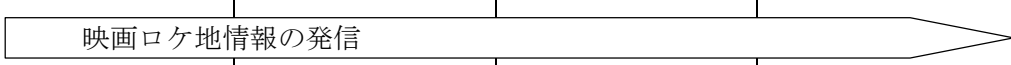


		<b>庄内総合支庁</b>
<b>施策番号</b>	<b>重点施策の名称</b>	<b>重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績</b>
2-3	「映画」を核とした地域の活性化	

<b>短期APにおける位置付け</b>	<b>やまがた創生総合戦略における位置付け</b>
テーマ2－施策3－(1)－①撮影誘致の推進とロケ地情報などの発信 テーマ2－施策3－(2)－①映画づくりに携わる人材の育成と映画による地域活性化の展開	

平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○映画撮影の誘致による地域経済の活性化と情報発信                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内ロケ地データベースの公開、拡充</li> <li>・映画による地域活性化を促すシンポジウムや講演会の開催</li> <li>・海外向けロケ地PR用DVDの制作（外国語字幕：英語、中国語、韓国語、ロシア語）・PR</li> </ul> </li> <li>○映画をテーマにした地域づくり・まちづくりの推進                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画資源を活用した体験プログラムの整備・PR</li> <li>・観光パンフレットやキャンペーンでの庄内ロケ地のPR</li> <li>・映画づくりに携わる人材の育成等を目指した映画づくり入門講座の開催</li> <li>・映画と地域資源を活用した周遊化促進事業(地域特産物スタンプラリー・周遊ルートマップ)の実施</li> </ul> </li> </ul>
------------------	--

**施策の評価と今後の推進方向等**

[平成28年度の実施状況の評価] ・山形県観光物産協会が主催した県映画ロケ誘致促進事業採択委員会（開催回数：2回）に参加しロケ誘致促進事業費補助金の審査を行うとともに、庄内観光コンベンション協会ホームページで管内映画ロケ地などの情報を発信した。				
[今後の推進方向等] ・映画ロケ地などの情報は庄内観光コンベンション協会ホームページなどを通じて発信し、観光客の誘客や映画ロケの誘致に取り組む。				
[平成28年度の実施状況] ・映画ロケ地情報の発信（①）				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	映画ロケ地情報の発信 			



- ・平成 25 年度に新規高卒者の県内就職率の低さを要因分析した「若者県内就職促進プロジェクト」の結果を踏まえ、地元産業界に対する早期求人票提出要請のほか、平成 26 年度から「高校生と地元企業との交流会（1～2 年生対象）」及び「保護者向け地元就職に関する説明会（1 年生保護者対象）」、平成 27 年度から「庄内を代表する企業人等によるセミナー（高校生対象）」など、高校生の地元就職志向を高める取組みを実施してきた。その結果、今年度は酒田地区は上昇したものの鶴岡地区の低下が大きく響き、県内就職率は 68.2%（H28 実績）と前年同期比-2.0 ポイントの下落となった。
- ・建設業協会と連携し、現場見学会や、高校生と若手技術者との意見交換会を実施した。また、建設業のやりがいや魅力を P R するパンフレットを作成し、庄内管内の高校 1 年生と中学 2 年生をメインに配付した。さらに、イオンモール三川や酒田市文化センター等で、建設業の役割を紹介するパネル展を開催した。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・ものづくりについては、コーディネート活動を継続する中で、専門機関や研究機関等の研究シーズ等を積極的に紹介していくなど連携を密にしていくほか、ものづくり企業ネットワークを設立し、中核的な企業のサプライチェーン構築に向け、サプライヤー企業の育成や企業同士の連携を図る。  
また、取引拡大に向けた商談会については、他県での商談会が多く開催される時期を避けるため、11 月から 9 月に前倒しして企業が参加しやすいようにするほか、地域企業のニーズを十分に把握し、管内受注企業の参加を増やして、商談成立件数の増加を目指す。
- ・目標指標については、各種事業計画の認定や補助金の採択、あるいはマッチングによる取引拡大など顕著な成果があったものを複数の要素でカウントしてきたが、基準が明確でなかったことから、今後はより客観的な指標を採用することとした。
- ・雇用については、管内の新規高卒者の県内就職率は改善が見られるものの依然として県全体よりも低く留まっていることから、学校関係者の意識改革を働きかけ、引き続き高校生が地元企業に対する理解を深める機会を提供するとともに、趣旨・目的を同じくする高等学校独自の取組みを支援する。特に工業系の高校で県外就職が多いことから、重点的に働きかけていく。また、U I J ターン希望者や学生を対象とした就職説明会の開催を継続するとともに、就職活動に臨む大学生等の家族に向けた地元企業の就職情報提供の対象者を拡大するなど、市町・商工団体・ハローワーク等の関係機関と連携した取組みを強化し、若者の地元定着・地元回帰を加速させる。
- ・また、将来の庄内地域の社会基盤の整備・維持管理を担う人材となる建設系学科高校生に対して、現場見学会や庄内の建設業で活躍する若手技術者との意見交換会を通して『建設業の魅力とやりがい』を P R するとともに、他学科の高校生や中学生を対象としたパンフレットの作成・配付、パネル展の開催を行い、地元建設業に対する関心・興味を高めていく。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・新たな企業取引や企業ネットワーク形成への支援 (①)
- ・農商工等連携への支援 (②)
- ・若手人材の地域定着の促進と地域の産業振興の方向に応じた新たな雇用創出 (③)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①		中小企業連携セミナーの開催 (7月)	庄内商談会の開催 (11月)	食品製造分野セミナー (3月)
	ガイドブック等による管外への企業PR			
	個別事案ごとの取引拡大に向けたコーディネート支援			
②		農商工連携・6次産業化セミナー及び個別相談会の開催 (8月 鶴岡)		農商工連携・6次産業化セミナー及び個別相談会の開催 (2月 酒田)
	農商工連携事業コーディネート支援			
③	新規高卒求人要請	新規高卒求人要請	高校生と地元企業との交流会、保護者向け地元就職に関する研修会の開催	
	高校生を対象とした、庄内を代表する企業人等によるセミナーの開催			
	庄内就職面接会の開催 (6月)			庄内就職説明会の開催 (3月)
		県外進学者への地元就職に関する意識調査		県外進学者への地元就職に関する意識調査
	大学生の家族に対する地元就職情報の提供			
	庄内地域雇用対策連絡会議の開催による関係機関との情報共有と連携強化			
		現場見学会・庄内の建設業で活躍するOBとの意見交換会の開催		
	建設業の魅力とやりがいをPRするパンフレットの作成・配付			

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
3-1	自然環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民参加の森づくり参加者数 22,500人（H28実績：22,600人）</li> <li>○クリーンアップ運動期間中の海岸清掃参加者数 3,200人（H28実績：3,384人）</li> <li>○山形県地球温暖化防止活動推進員による出前講座実施回数 15回（H28実績：15回）</li> </ul>

短期APにおける位置付け	やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ3－施策1－（1）－①環境教育や環境保全活動の推進 テーマ3－施策1－（2）－①海岸漂着物対策や河川・道路美化活動などの推進 テーマ3－施策1－（3）－①地球温暖化対策に向けた普及啓発	

平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然環境保全活動の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北自然歩道を活用した自然体験型環境学習会の開催</li> </ul> </li> <li>○県民参加の森づくりの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体の協働による海岸林保全の推進、森林環境教育、森林ボランティア活動の支援</li> </ul> </li> <li>○環境保全のための多角的な取組みの推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動の実施</li> <li>・河川や海岸の愛護活動団体やマイロードサポート団体による河川・海岸・道路の美化活動の実施</li> <li>・海岸及び漁港内の漂着ごみの回収処理の実施</li> <li>・酒田海洋センターでの環境教育の実施及び内陸商業施設、釣り場等での普及啓発の実施</li> </ul> </li> <li>○地球温暖化対策の取組みの推進</li> </ul>
------------------	--

#### 施策の評価と今後の推進方向等

##### 〔平成28年度の取組みの評価〕

- ・海岸漂着物対策の推進については、「山形県海岸漂着物対策推進地域計画」に基づき啓発と回収事業を実施し、推進協議会で進行管理及び情報共有を図った。河川や海岸におけるクリーンアップ運動は16会場、計25回開催した。「第36回全国豊かな海づくり大会やまがた」に向け環境美化推進連絡会議を設立し、地元自治会やボランティア団体の積極的な美化活動を誘引した。
- ・県民参加の森づくりについては、H26に開催した全国育樹祭を契機とした森づくり運動の機運を、森・川・海の連続性の趣旨から、9月に開催した全国豊かな海づくり大会へつなげる活動として、森林環境教育や森林整備体験活動に重点的に取り組んだ結果、森づくり活動参加者の増加に結びついた。
- ・河川、海岸、道路美化活動については、河川・海岸の管理延長787kmのうち95km区間において、河川愛護活動をしている99団体4,863人（平成28年度）

が除草、清掃等の美化活動を行い、道路の管理延長 847 k mのうち 376 k m区間において、マイロードサポートをしている 186 団体 4,733 人（平成 28 年度）が除草・清掃等の美化活動を行った。県においては、河川の除草が効率的に行われるよう、支障となる立木の伐採を支援した。また、美化活動を 10 年以上続けている 10 団体に対し「県土づくり感謝状」が贈呈された。

- ・漂着ごみについては、海岸及び漁港の漂着物を計画的に回収・処理した。
- ・地球温暖化対策については、庄内地域地球温暖化対策推進協議会を開催し、国、県、各市町、各地球温暖化防止活動推進員等の取組みについて情報交換・意見交換を実施し、市町や推進員の活動の活性化を促進した。また、推進員等による出前講座の活用拡大に向け、市町等に対して制度の周知を行ったこともあり、前年度を上回る派遣回数となった。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・海岸漂着物対策の推進については、陸域の発生抑制対策として普及啓発を継続して行い、海岸の清掃活動はボランティアの参加者を確保し支援していく。
- ・県民参加の森づくりについては、引き続き行政機関、教育機関、森づくり活動団体、NPO 等との連携を強化して、地域に根差した保全活動の定着とさらなる展開に向け運動を推進するほか、新たに森林環境教育の指導者（森の案内人）となる人材の育成に取り組んでいく。
- ・河川、海岸、道路美化活動については、活動年数 10 年以上の優良団体を対象とした「県土づくり感謝状」の贈呈により活動意欲を高めるとともに、除草の支障となる立木の伐採の支援を行い、協働の取組みを継続していく。
- ・漂着ごみについては、海岸及び漁港における漂着物を計画的に回収・処理していく。
- ・地球温暖化対策については、市町における地球温暖化対策地域協議会や地球温暖化防止活動推進員等の取組みへの支援や連携により、地球温暖化問題に対する県民の意識改革やライフスタイルへの変革に向け、普及啓発活動を推進していく。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・回収処理対策及び発生抑制対策の推進 (①)
- ・県民参加の森づくり運動の推進と人材の育成 (②)
- ・環境保全のための多面的な取組みの推進 (③)
- ・地球温暖化対策に向けた普及啓発 (④)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	ボランティア海岸清掃への支援、海岸漂着物対策推進のための普及啓発・環境教育の実施			
	海づくり大会に向けた環境美化			
	飛島クリーンアップ 作戦 による普及啓発	飛島を舞台とした環 境教育の実施(再掲)		
②	ボランティアリーダー研修の開催、森林ボランティア活動や森林環境教育の支援			
③	河川愛護活動団 体、マイロードサポ ート 団体の募集、認定	住民との協働による河川・海岸・道路の除草・清掃等美化活動の実施		
	海岸の漂着ごみの回収処理の実施			
④	市町地球温暖化対策協議会等の活動支援 (研修等)			





び等の急速冷凍品開発を行った。

- ・漁業の担い手の確保・育成については、7名が新規に就業した（底びき3名、はえなわ・一本釣り2名、定置2名）。その他1名が漁業就業者準備研修（期間1年間）受講中である。トップランナーを目指す漁業者に対する代船建造支援（県単）では、3名のはえなわ漁業者が新船を建造し、漁船リース事業（国庫）では、4隻が新船建造又は中古船購入を実施中である。
- ・庄内産天然トラフグの知名度向上と地元消費拡大を図るため、12月からキャンペーンを行い、約1千人が利用し、各種メディアでも取り上げられた。
- ・庄内浜文化伝道師の取組みとして、料理講座を172回開催して魚食の普及を図ったほか、新たに内陸の量販店や庄内の魚まつり等でのPRを5回実施し、消費拡大を推進した。また、第36回全国豊かな海づくり大会～やまがた～では、3か所の関連行事会場において、地魚料理の実演と振舞いを行い、庄内浜の食の豊かさを全国の方々へアピールした。
- ・また、全国豊かな海づくり大会の開催に向け、地元市町、関係機関・団体等と連携を図りながら準備を進めるとともに、子どもたちよる大会記念リレー放流や、各地のイベントと連携したPRキャラバンを県内全域で行い、大会のPRと機運醸成を図った。大会は9月10日～11日、庄内地域を会場に「森と川から海へとつなぐ生命のリレー」をテーマとして、本県の特徴や魅力も含めながら、つくり育てる漁業と環境保全の大切さを発信する内容で開催した。大会期間中は、関連行事を含め、県内外から約31,000人の参加者が集い、本県の豊かな自然や文化、特色ある水産業を全国にアピールする大会となった。
- ・漂着ごみについては、海岸及び漁港の漂着物を計画的に回収・処理した。
- ・沿岸域における地域資源の活用については、情報発信の強化による誘客やイベントの開催により庄内沿岸域への集客を促進したが、平成28年度は遊泳禁止日の減少や土日の好天などにより、海水浴場への入込数は、2年連続で前年度を上回った。また、海の安全安心な利用については、安全対策連絡会議における離岸流対策の情報共有や、マナー啓発チラシを配布し普及啓発活動を行った。
- ・安全な漁港の整備については、漁港の維持浚渫、漁港施設の機能強化や機能保全などを計画的に実施した。漁港工事は施工時期が限られるため、今後も計画的に進める必要がある。また、堅苔沢漁港海岸の高潮対策に取り組み、越波による被害防止を図る。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・水産については、資源管理の推進とその持続的利用を行うとともに、付加価値向上対策としてトラフグ、ズワイガニ等のブランド化を進め、食をテーマとした観光商品への磨き上げを図っていく。また、水産加工・流通については、コーディネーターを配置し、漁業者等が行う加工品開発や販路開拓を支援していく。栽培漁業については、試験研究機関と連携して、健康な種苗の生産及び効果の高い放流事業を展開する。
- ・漁業の担い手確保・育成については、求人情報の発信強化や就業希望者と研修引き受け者のマッチング等について、よりきめ細やかに行い、間口を広げるとともに研修中の離脱者を減少させ、就業者の増加へ繋げる。併せて、漁業就業者や独立漁業者に対する収入安定化対策や漁船等の取得支援などを通じて、担い手確保及び個々の漁業者の所得増加に向けた取組みを進めていく。
- ・庄内浜文化伝道師の取組みとしては、料理講座の開催はもとより、「食の都庄内」や沿岸市町との連携をさらに進め、情報発信力のある伝道師の新規認定を行って地魚の美味しさや旬をPRし、魚食普及と消費拡大を推進する。
- ・全国豊かな海づくり大会で培われた環境保全や栽培漁業への関心を高めるため、県民参加型のトラフグ・サクラマス体験放流事業や、園児・児童を対象に伝道師や漁業者を講師として、海・魚・料理等について学ぶ出張お魚教室を開催する。
- ・漂着ごみについては、海岸及び漁港における漂着物を計画的に回収・処理していく。

- ・沿岸域における地域資源の活用については、市町や関係機関と連携しながら情報発信を強化して地域内外からの誘客を図るとともに、海の安全安心な利用については、水難事故等の発生を未然に防止するため啓発活動を継続する。
- ・安全な漁港の整備については、漁港施設の機能強化・機能保全、維持浚渫等を計画的に実施していく。また、漁港海岸の安全対策として、海岸施設の高潮対策に取り組んでいく。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・水産物の生産・流通・加工対策の推進 (①)
- ・漁業の担い手の確保・育成の推進 (②)
- ・水産業や浜文化への理解促進 (③) [創]
- ・海、河川、森林の環境保全 (④)
- ・沿岸域における地域資源の活用の展開 (⑤)
- ・安全な漁港・海岸の整備 (⑥)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	資源管理計画の変更等の指導、資源管理措置の履行確認、事業の周知と参加の促進、評価 新たな栽培魚種、養殖魚種の技術的検討 庄内水産加工振興コンソーシアムにおける情報交換と連携の促進、水産加工品の開発の推進			
②	新規漁業就業者に対する研修、技術指導、経営指導等の支援 漁業就業希望者に対する長期・短期研修の実施 中高生に対する少年水産教室や体験漁業の実施			
③	全国豊かな海づくり大会の開催準備 本大会・関連イベントの開催(秋季)、後催県引継ぎ 大会開催に向けた機運醸成・PR 庄内浜文化伝道師による地魚料理教室の開催			
④	海岸、漁港等における漂着ごみの回収・処理			
⑤	山形県沿岸域総合利用推進会議への支援 海水浴客等の誘客パンフの作成・配布 定期船とびしま活用による庄内海岸クルーズの実施 庄内海岸を利用する際のマナー啓発、沿岸域活性化に向けたソフト事業への助成			
⑥	安全な漁港・海岸の整備			

		庄内総合支庁
施策番号	重点施策の名称	重点施策の目標（総合戦略のKPI）及び実績
3-3	再生可能エネルギーの導入促進と循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギー及び代替エネルギーを活用する施設数 熱利用施設 35 件（H28 累計：熱利用施設 35 件）</li> <li>○未利用廃棄物（雑紙等）の分別回収取組み事業所数 150 箇所（H28 実績：154 箇所）</li> </ul>

短期APにおける位置付け	やまがた創生総合戦略における位置付け
テーマ3-施策3-(1)-①再生可能エネルギーの導入促進 テーマ3-施策3-(3)-①循環型社会の形成に向けたリサイクルの推進	

平成27年度までの主な取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギーの導入の促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度に発足した「庄内地域再生可能エネルギー推進研究会」で勉強会を開催</li> <li>・「庄内地域エネルギー戦略推進協議会」の設置</li> <li>・リサイクル関連企業の誘致と取扱貨物量の増加を図るため企業向けのセミナー開催（平成22年度は知事プレゼンによるセミナーを開催）</li> </ul> </li> <li>○循環型社会の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内環境産業展、庄内環境リーダー養成講座及び環境体験バスツアーの開催</li> <li>・中小事業者におけるリサイクルの取組みが遅れている品目（雑紙、ダンボール、プラスチック）に関する、地域における廃棄物の回収・処理体制のモデル構築事業の実施</li> </ul> </li> <li>○農業分野における推進策の検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマス利活用部会の検討</li> <li>・農業分野における推進策の策定</li> <li>・ユーザーサポート体制の実施（企業訪問、県民への普及啓発）</li> <li>・遊佐町をモデル地区として、農業分野での木質バイオマスを熱利用する実証事業の実施</li> <li>・鶴岡バイオマス協議会に対する支援</li> </ul> </li> </ul>
------------------	---

#### 施策の評価と今後の推進方向等

<p>〔平成28年度の取組みの評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー設備の導入の促進については、市町や民間事業者、東北公益文科大学などとの連携のもと、庄内地域エネルギー戦略推進協議会（事務局庄内総合支庁環境課）の木質バイオマス・エリア熱供給型、地産地消型、市民主導・参加型の3専門部会において、先進事例調査や勉強会、講演会開催などの取組みを通じて普及啓発を進め、目標値を達成した。</li> <li>・廃棄物のリサイクルについては、事業所に対し普及啓発を行い、取組み状況を確認したところ、金属くず、紙くずに比較し取組みが遅れているプラスチック及び機密紙について、収集・処理体制が不十分であった。</li> </ul>
--

- ・遊佐町をモデル地区として、間伐材を集積し、農業ハウスに設置した薪ストーブで熱利用する実証事業では、林業サイドでは活動の基盤となる「遊佐町軽トラ林業倶楽部」が運搬した軽トラックの延べ台数が前年度から増加するなど、取組みが順調に伸びている。農業サイドでは、バイオマスの熱利用の普及拡大をPRしていく必要がある。
- ・鶴岡バイオマス協議会が主催する管内事業体職員等を対象とした技術研修・セミナー等については、参加者から有意義であったとの声が多く寄せられた。

〔今後の推進方向等〕

- ・平成24年3月に策定された「山形県エネルギー戦略」を受け、産学官民連携のもと、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入や関連産業の事業化の促進に取り組んでいくとともに、引き続き地域におけるリサイクルを推進していく。
- ・木質バイオマスの利用拡大と木材の安定供給に向けて、農業分野での熱利用実証事業と鶴岡バイオマス協議会への支援を継続して実施する。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・地域特性を活かした導入の促進 (①)
- ・地域におけるリサイクルの拡充 (②)
  - 1) 廃瓦をリサイクルするための実用化に向けた具体的な検討
  - 2) 中小企業から排出される雑紙等をリサイクルに回す取組みの普及啓発を継続実施
  - 3) 小型家電リサイクルの普及啓発と市町が実施する回収等の支援
- ・農業分野での木質バイオマスの利活用(熱利用)についてモデル地区を設定し、実証試験を実施 (③)
- ・鶴岡バイオマス協議会に対する支援 (④)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①	庄内地域エネルギー戦略推進協議会 ・木質バイオマス・エリア熱供給型部会、地産池消型部会、市民主導・参加型部会における先進事例調査、勉強会、講演会の開催			
②	事業所排出廃棄物リサイクル普及啓発の実施 ・廃瓦リサイクルの実用化に向けた調査(委託) ・雑紙等の分別・回収リサイクル取組みの普及啓発			
		環境体験バスツアーの開催		
③	バイオマス資源熱利用システム検討会(打合せ)等の開催			
	実証試験の実施(遊佐町をモデルとして)			
	情報提供			
④		技術研修会の実施		
		経営者向けセミナーの実施		
		地域住民に対する情報発信		



## 施策の評価と今後の推進方向等

### 〔平成28年度の取組みの評価〕

- ・津波対策については、平成28年3月の津波浸水想定・被害想定を受けて、新たな想定やハザードマップ作成等に係る学習会や研修会を開催するとともに、新想定に基づいた合同避難訓練を開催し、市町等関係機関の取組みを促進するための支援を行った。
- ・社会福祉施設等を対象に地震津波防災対策研修会を開催し、災害対応力の向上を図った。
- ・鳥海山噴火防災対策については、安全対策や避難対策のあり方について市町等関係機関を対象とした研修会を開催し、啓発や防災対応力の向上に努めた。
- ・自主防災組織については、地域住民等を対象とした研修会を市町と連携して開催し、活動の活性化や組織化の促進を図った。
- ・日本海の津波断層モデルが平成26年8月に公表されたことを受け、L1津波高を設定（平成27年3月）した。設定したL1津波高を用いて計画堤防高の検討、また海岸堤防等の維持管理項目等を追加し、山形沿岸海岸保全基本計画の変更（平成28年4月）を行った。
- ・農業用水の取水機能を確保するため、藤島川の3箇所において河川区域内の支障物を除去したことで、当面の災害発生時のリスク軽減が図られた。
- ・道路施設の長寿命化対策について、平成28年度まで橋梁265橋（要対策橋数370橋）、トンネル12箇所（要対策数13箇所）の対策工事を実施した。

### 〔今後の推進方向等〕

- ・津波対策の推進や地域防災力の強化については、東日本大震災や山形県沖で想定される地震に基づく津波浸水域予測図（平成28年3月策定）を踏まえ、「自分の命を守ることを最優先に、とにかく一刻も早く避難すること」の定着を目的とした避難訓練を継続して実施していく。
- ・地域自治会等との連携体制構築による社会福祉施設の災害対応力向上に取り組んでいく。
- ・鳥海山火山噴火防災対策については、山形秋田両県で設置する火山防災協議会での噴火警戒レベル導入や火山防災マップ作成に係る協議を踏まえ、市町等関係機関の取組みを促進するための研修会等を実施していく。
- ・東日本大震災をはじめとした自然災害の教訓を活かし、自主防災組織の育成強化を図るため、自治会長などの地域リーダーや地域の団体等を対象とした防災啓発講座を市町と連携して実施する。
- ・山形沿岸海岸保全基本計画に基づき、海岸保全施設の整備、また施設の機能が長期にわたり発揮されるよう、適正に維持管理を行っていく。
- ・農業用水の取水機能の確保については、藤島川の3箇所において河川区域内の支障物を除去して、災害発生時のリスク軽減を図っていく。
- ・道路施設の長寿命化については、緊急度の高い施設を優先に補修工事に取り組んでいく。

〔平成28年度の主な取組み内容〕

- ・総合的な津波対策の展開 (①)
- ・社会福祉施設の地震津波災害対策の推進 (①)
- ・防災啓発及び市町との連携強化 (②)
- ・災害時における被害の軽減に向けた展開 (③)
- ・集中豪雨などに対応した社会資本基盤の整備 (④)
- ・災害に強い基盤の整備 (⑤)

	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
①	庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会の運営			
	山形沿岸海岸保全基本計画の公表		社会福祉施設を対象にした研修会の実施	
②	防災出前講座による防災意識の啓発			
	津波新想定学習会	沿岸市町津波避難訓練 津波新想定学習会	支庁防災図上訓練 沿岸市町津波避難訓練	鳥海山噴火避難対策合同研修会
③	在宅難病患者のケアプラン会議開催による災害の対応策の検討			
④	農業用水の取水機能確保のための河川内支障物除去の実施			
⑤	長寿命化計画に基づく道路施設の長寿命化対策工事の実施			





- ・秋田県由利地域振興局と連携し、交流人口拡大に向けた「まるっと鳥海わくわくキャンペーン」の実施
- ・東北公益大学と秋田県立大学の合同ワークショップなどの実施
- ・庄内・村上岩船地域広域連携推進会議が解散したため、民間団体による連携事業の側面支援を実施

### 施策の評価と今後の推進方向等

#### 〔平成28年度の取組みの評価〕

- ・日本海沿岸東北自動車道（日沿道）未整備区間の早期整備に向けた広報活動について、隣接する新潟県・秋田県と3県で連携し作成したパンフレットを3県の沿線市町及び日沿道沿線市町村建設促進大会等で配布したほか、ホームページ「庄内地区の高規格幹線道路及び地域高規格道路」を更新した。  
(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/shonai/337073/syounaikoukikakudoro.html>)  
日沿道の全線事業化により縦軸の強化が図られるが、横軸となる新庄酒田道路、東北横断自動車道酒田線では、未整備区間があることから、高速ネットワークを形成するうえでも横軸の強化が必要であるため、新庄酒田道路の供用開始を促進する活動に4回参加した。  
高速道路と主要観光地などを繋ぐアクセス道路の整備推進について、鶴岡羽黒線（羽黒山B P）、余目温海線（鶴岡市温海）の整備を進めている。
- ・「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」の設立を受けて、フル規格新幹線の整備実現に向けて「山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会」を設立した。羽越本線の高速化及び安定輸送の確保については、当該同盟会と一体となって促進大会などを開催し、国やJRに対し高速化の早期実現、強風対策の推進及び新幹線整備に必要な法定調査の開始等について要望活動を行った。新潟駅同一ホーム乗換え事業については、平成30年度の暫定供用開始に向け工事が進められている。
- ・庄内空港の利便性向上・利用拡大については、観光誘客による一層の利用促進を図るため、観光部局との連携のもと、旅行エージェンต์へのプロモーション活動やインバウンド促進に係る情報発信の取組みを実施した。また、庄内空港利用振興協議会と連携して、5便化、運航機材の大型化実現に向けてANAへの要望活動を実施し、ANAでは平成29年夏ダイヤにおける羽田線の中型機による運航の拡充を決定した。
- ・酒田港に関しては、「酒田港ポートセールス協議会」における民間を含めた関係機関によるタスクチーム活動（定期的な情報共有・意見交換やポートセールス企業訪問活動）を行う中で、コンテナ貨物量も過去最高を更新し、国際定期コンテナ航路も週7便まで増便されたが、荷主や代理店等からは、物流コスト（使用料等）の低減、更なる増便、中国への直行便の就航等の課題を提起されている。
- ・秋田・新潟両県との広域連携については、環鳥海地域連携事業実行委員会・日本海きらきら羽越観光圏推進協議会で各種事業を展開しており、交流基盤は確立しつつある。

#### 〔今後の推進方向等〕

- ・高速道路などの整備促進に関する今後の広報活動について、日沿道の沿線における産業振興・観光振興、地域づくりなどの分野の取組みを抽出したプロジェクトマップを作成し、要望活動に利用していく。  
格子状ネットワーク形成に重要である新庄酒田道路について、平成27年度に一部区間（5.9km）が供用されているが、引続き全線の供用開始を促進する活動へ参加していく。  
高速道路と主要観光地などを繋ぐアクセス道路の整備推進について、引き続き継続事業について整備の促進を図っていく。
- ・羽越新幹線整備の早期実現、羽越本線の高速化及び安定輸送のための強風対策推進については、引き続き「山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会」や沿線

市町と一体となった活動を展開し、事業の促進を図っていく。

- ・ 庄内空港の利便性向上・利用拡大については、観光部局との連携のもと旅行エージェンต์へのプロモーション活動を引き続き実施するとともに、平成 29 年夏ダイヤで羽田線の中型機による運航が拡充することを踏まえ、一層の利用拡大に向けた効果的な施策を庄内空港利用振興協議会との連携のもと展開していく。
- ・ 酒田港に関しては、官民が一体となり、物流権限を持つ本社、商社等への提案型のポートセールスと大口荷主等に対するきめ細かな対応を継続していく。
- ・ 広域連携については、対象地域における相互交流の事業を継続するとともに、県観光キャンペーンと連携したPRや事業を行うなど、庄内・由利地域や庄内・村上岩船地域だけでなく、地域外へ魅力を発信し、交流人口の更なる拡大を図っていく。

〔平成 28 年度の主な取組み内容〕

- ・ 格子状ネットワークを形成する高速道路などの整備促進 (①)
- ・ 羽越新幹線整備促進に向けた機運醸成、羽越本線の高速化・安定輸送の確保に向けた活動の展開 (②)
- ・ 庄内空港利便性向上・利用拡大に向けた活動の展開 (③)
- ・ 関係機関とともに実施するポートセールス活動 (④)
- ・ 秋田・新潟両県との相互交流の拡大 (⑤)

	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日沿道未整備区間などの事業促進に向けて実施する広報活動 (チラシ配布、ホームページによる情報発信)</li> <li>○新庄酒田道路の供用開始を促進する活動への参加 (4回)</li> <li>○高速道路と観光地などを繋ぐアクセス道路の計画的な整備推進 「鶴岡羽黒線 (羽黒山B P)」「余目温海線 (温海工区)」の整備推進</li> </ul>			
②	山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会と一体となった活動の展開			
③	庄内空港利用振興協議会と一体となった活動の展開			
④	関係機関とともに実施するポートセールス活動			
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋田・山形県際間連携推進協議会・環鳥海地域連携事業実行委員会への支援</li> <li>“日本一のふるさとの山=鳥海”普及啓発事業</li> <li>まるっと鳥海わくわくキャンペーン</li> <li>観光PR小冊子作成</li> <li>日本海きらきら羽越観光圏推進協議会による広域連携事業 (首都圏メディアへの情報発信、総合パンフレット、即身仏パンフ等作成)の実施</li> </ul>			